

平成26年度全国学力・学習状況調査結果  
＜概要版＞

平成26年10月  
三重県教育委員会

## 目 次

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について .....	1
<b>1 教科に関する調査の結果・分析</b>	
(1) 平均正答率の状況 .....	2
(2) 平均正答率の分布状況 .....	3
(3) 正答数の分布状況 .....	7
(4) 領域別平均正答率の状況 .....	11
(5) 三重県における特徴的な傾向 .....	15
<b>2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）の結果・分析</b>	
(1) 小学校 .....	19
(2) 中学校 .....	23
《今後の詳細な調査結果の公表の予定》 .....	27

## 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

三重県教育委員会

平成26年10月

本年4月に小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月25日に文部科学省から公表されました。

本県では、これまでに、子どもたちの学力向上に学校・家庭・地域が一体となって取り組む「みえの学力向上県民運動」を展開してまいりました。このような中、教科に関する調査結果は、全ての教科で全国の平均正答率を3年連続下回るなど厳しいものであり、今こそ、三重の教育に携わる関係者が心をついにこの状況を改革していく必要があります。

具体的には、教科に関する調査では、小・中学校ともに国語に大きな課題があるとともに、小学校では算数にも課題がありました。

特に、国語においては、

- ・既習の漢字や故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で適切に用いること

- ・目的に応じて、事実と感想、意見などの関係を整理して書いたり読んだりすること

などに課題がありました。算数・数学においては、

- ・数学B（主として「活用」に関する問題）では、数学A（主として「知識」に関する問題）と比べると無解答率が高く、全国と比較してもその差が数学Aより開いている状況にあること

- ・関係を見だし説明したり、根拠を明らかにして筋道を立てて説明したり、表現すること

などに課題がありました。このようなことから、学習活動の基盤となる言語に関する能力の育成についての課題が、主として「活用」に関する問題（B問題）の無解答率の高さにもつながっていると推察されます。

また、児童生徒や学校に対する質問紙調査では、全国平均と比較して、校内研修の実施回数は多いにもかかわらず、授業の進め方（「めあての提示」と「振り返る活動の計画的な設定」等）の改善がなされていない、学校での校長の授業の見回りが少ない等、基本的な指導方法の徹底や組織的な取組に課題があります。また、朝の読書は実施しているものの学校図書館を活用した授業の取組が少ない等の状況にあります。さらに、地域の行事への参加や学校への地域人材の協力は多く、家庭での学習時間についても一定の改善が見られるものの、全国に比べると学習・生活習慣にも課題がありました。

今回の調査結果から、子どもたちの可能性を十分に引き出せていない現状を真摯に受け止め、当調査で明らかになった児童生徒の学力の定着状況や学習状況、生活習慣等とこれまでの取組とを関連づけて検証を進めているところです。ついては、本県の調査結果における基本的な状況をこの度まず公表し、「地域特性や施策取組結果等の状況」、「県教育委員会による児童生徒の学びの充実を図るための今後の取組」等の項目については、10月末に改めて公表する予定としています。

県教育委員会では、ここにお示しした内容を広く県民の皆様方と共有するとともに、市町教育委員会や学校等と連携し、子どもたちの学力向上のために取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「(5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項等」をご覧ください。

「実施要領（抄）」PDF（148KB）

<掲載内容>

- ・ 教科に関する調査の結果・分析

- ・ 質問紙調査の結果・分析

- ・ 今後の詳細な調査結果の公表の予定

# 1 教科に関する調査の結果・分析

## (1) 平均正答率の状況

### <小学校>

平均正答率	国語A		国語B		算数A		算数B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
三重県	60.3	69.6	46.7	52.5	75.8	76.2	55.3	56.0
全国	62.7	72.9	49.4	55.5	77.2	78.1	58.4	58.2
全国の平均正答率との差	-2.4	-3.3	-2.7	-3.0	-1.4	-1.9	-3.1	-2.2
	↓		↓		↓		↑	
全国の平均正答率以上の学校数	132校 (34.0%)	105校 (27.9%)	118校 (30.4%)	119校 (31.6%)	158校 (40.7%)	143校 (37.9%)	115校 (29.6%)	139校 (36.9%)
	↓		↑		↓		↑	

※ ( ) 内は、平成 25 年度実施校 388 校、平成 26 年度実施校 377 校に占める割合を示す。

### <中学校>

平均正答率	国語A		国語B		数学A		数学B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
三重県	75.0	78.0	65.8	49.0	63.2	67.1	39.3	58.3
全国	76.4	79.4	67.4	51.0	63.7	67.4	41.5	59.8
全国の平均正答率との差	-1.4	-1.4	-1.6	-2.0	-0.5	-0.3	-2.2	-1.5
	→		↓		↑		↑	
全国の平均正答率以上の学校数	61校 (37.4%)	59校 (37.1%)	64校 (39.3%)	55校 (34.6%)	80校 (49.1%)	76校 (47.8%)	59校 (36.2%)	65校 (40.9%)
	↓		↓		↓		↑	

※ ( ) 内は、平成 25 年度実施校 163 校、平成 26 年度実施校 159 校に占める割合を示す。

昨年度に引き続き、全ての教科において全国の平均正答率を下回っており、小学校国語 A・B、小学校算数 A、中学校国語 B において全国の平均正答率との差がさらに開く状況にあります。

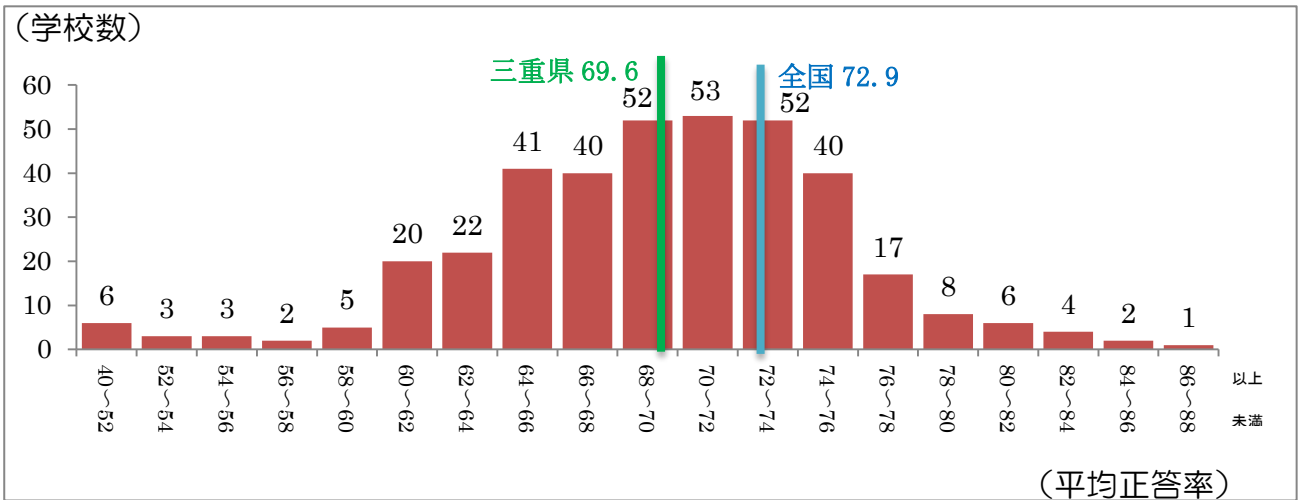
※ A 問題とは、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題

B 問題とは、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容（主として「活用」に関する問題）を中心とした出題

(2) 平均正答率の分布状況

<小学校>

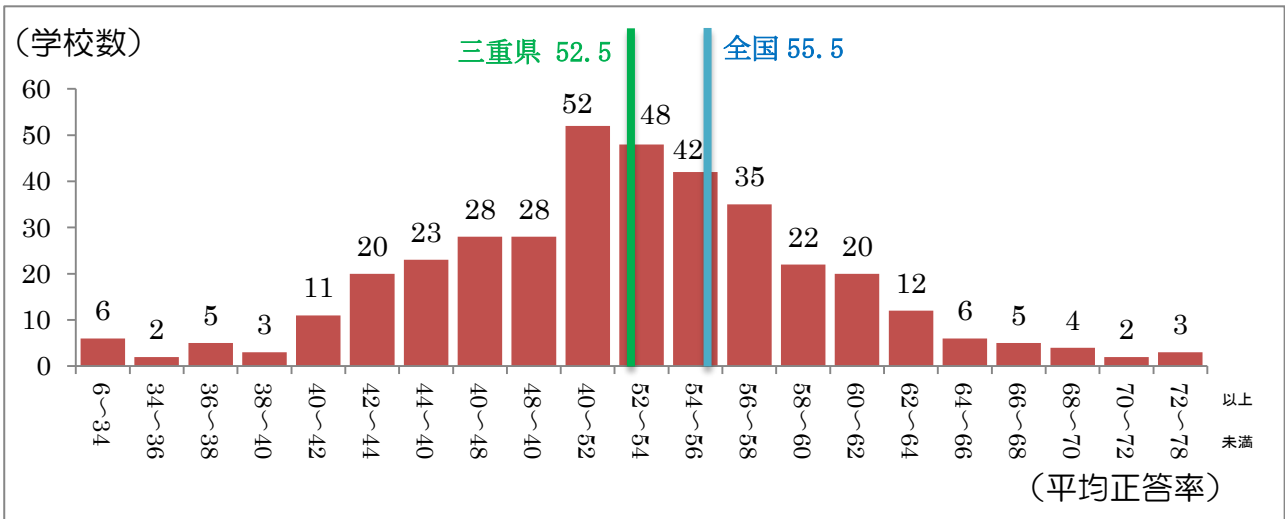
[小学校・国語A]



全国の平均正答率72.9%未満の学校は272校（全体の72.1%）で、7割を超えており、全国の平均正答率以上の学校は105校（全体の27.9%）に留まっています。

小学校及び中学校における教科に関する調査の中で、全国の平均正答率以上の学校数の割合が最も低くなっています。

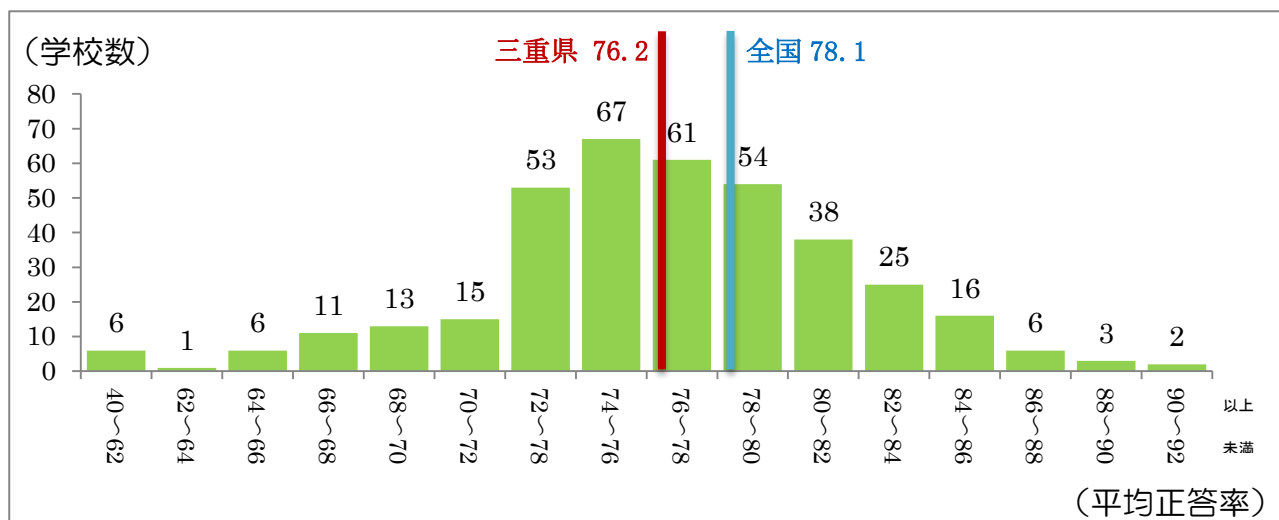
[小学校・国語B]



全国の平均正答率55.5%未満の学校は258校（全体の68.4%）で、6割を大きく超えており、全国の平均正答率以上の学校は119校（全体の31.6%）に留まっています。

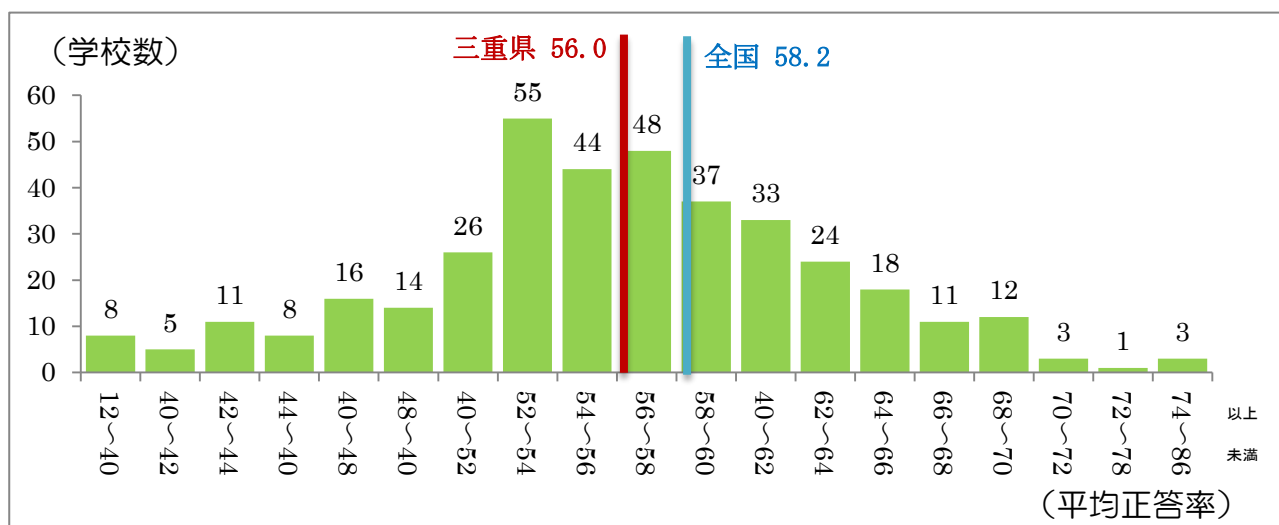
小学校における教科に関する調査の中では、平均正答率の分布の幅が広がっています。

[小学校・算数A]



全国の平均正答率78.1%未満の学校は234校（全体の62.1%）で、6割を超えており、全国の平均正答率以上の学校は143校（全体の37.9%）に留まっています。

[小学校・算数B]

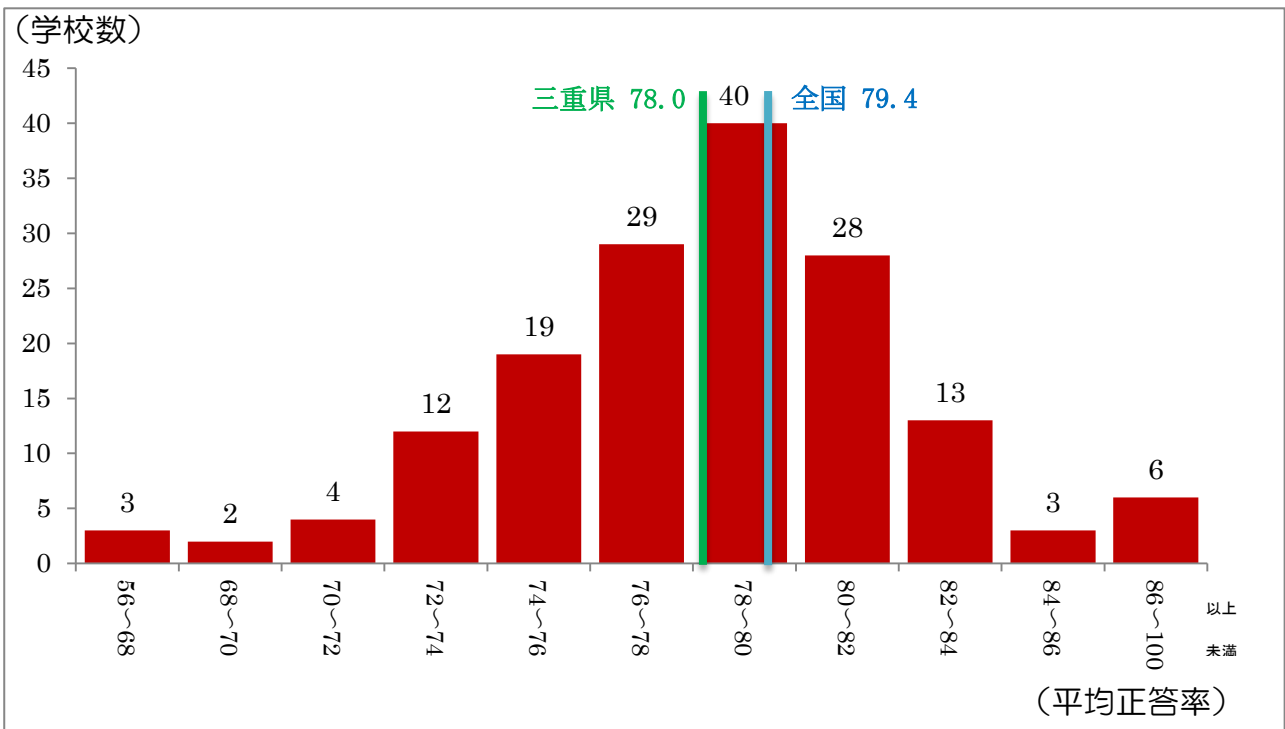


全国の平均正答率58.2%未満の学校は238校（全体の63.1%）で、6割を超えており、全国の平均正答率以上の学校は139校（全体の36.9%）に留まっています。

小学校国語Bと同様に、平均正答率の分布の幅が広がっています。

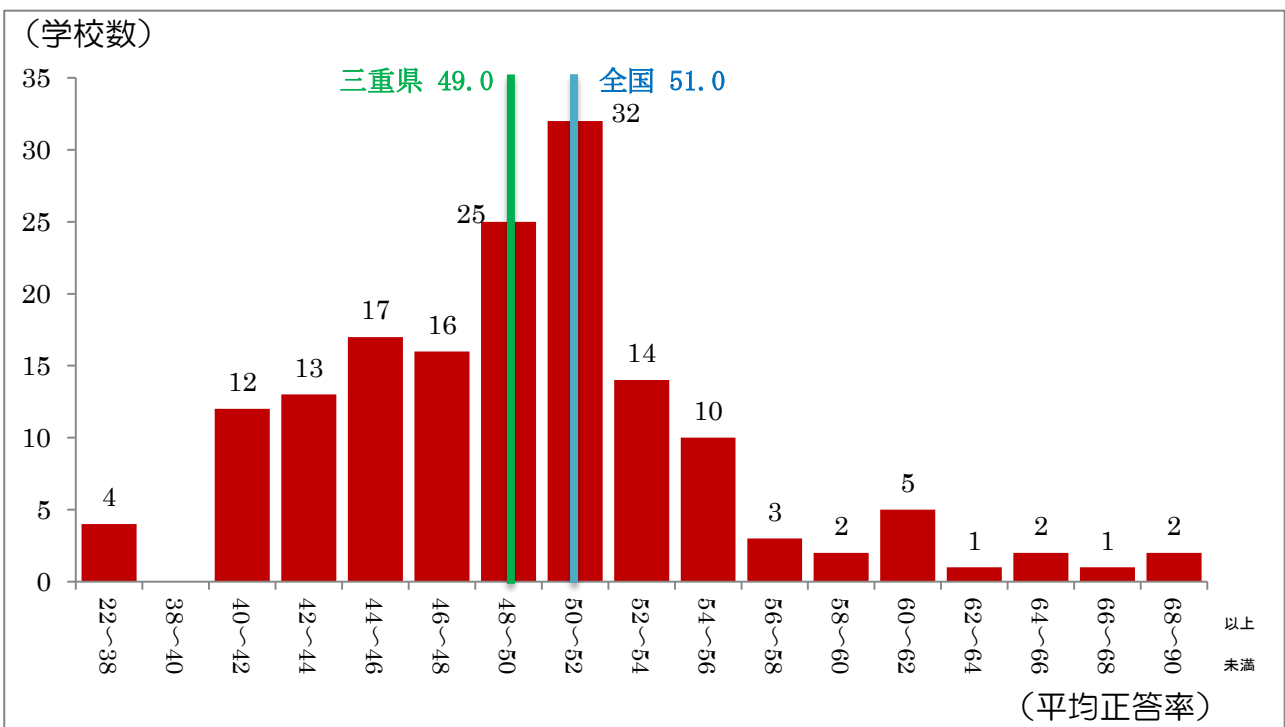
<中学校>

[中学校・国語A]



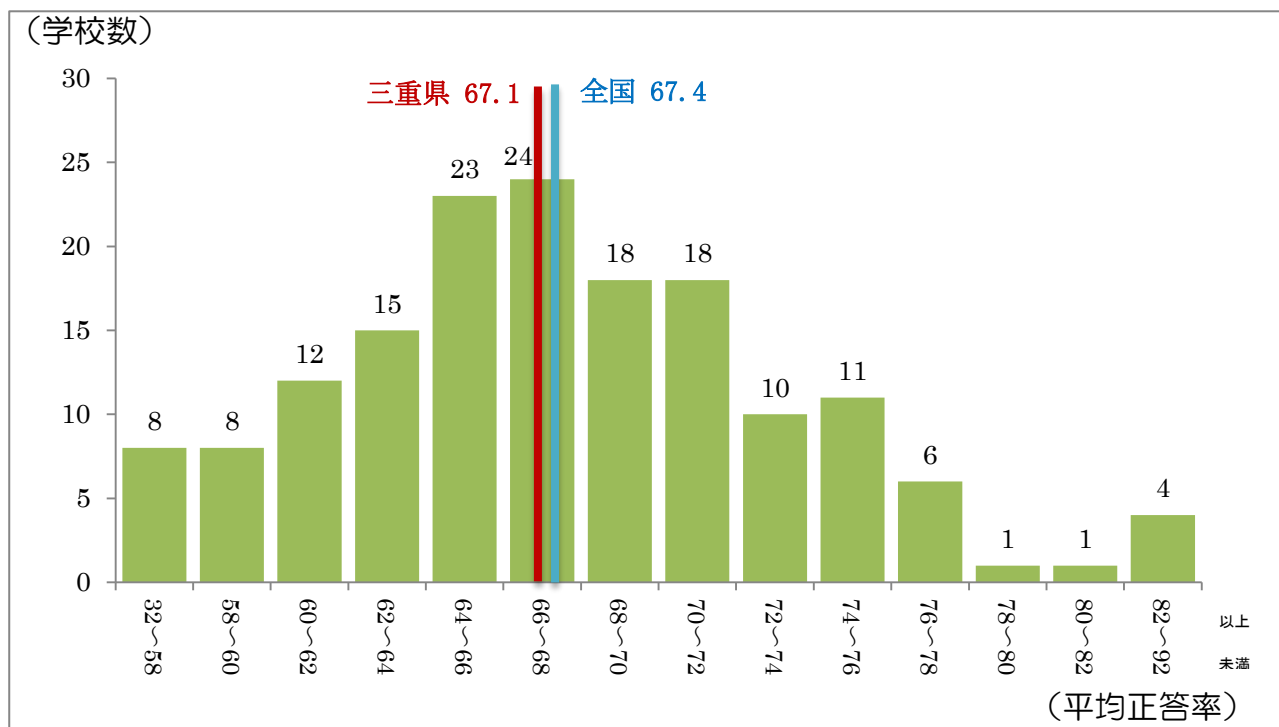
全国の平均正答率79.4%未満の学校は100校（全体の62.9%）で、6割を超えており、全国の平均正答率以上の学校は59校（全体の37.1%）に留まっています。

[中学校・国語B]



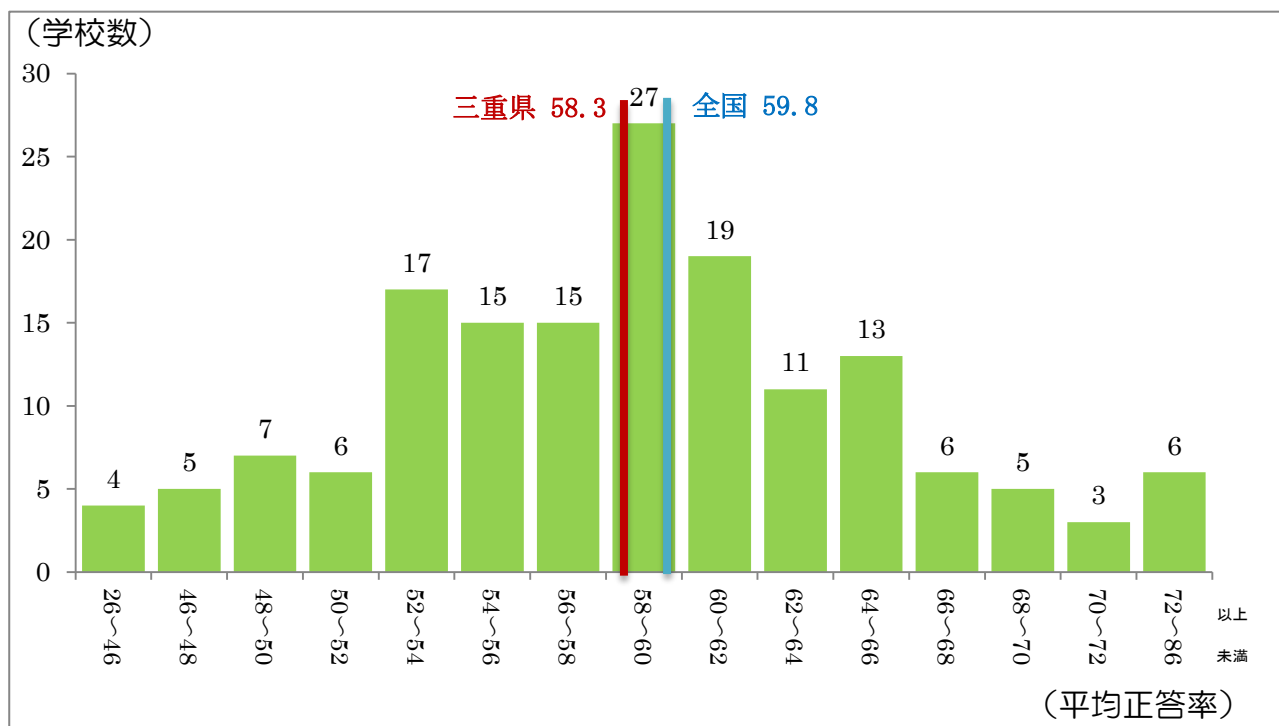
全国の平均正答率51.0%未満の学校は104校（全体の65.4%）で、6割を超えており、中学校における教科に関する調査では最も学校数の割合が高くなっています。全国の平均正答率以上の学校は55校（全体の34.6%）に留まっています。

[中学校・数学A]



全国の平均正答率67.4%未満の学校は83校（全体の52.2%）、全国の平均正答率以上の学校は76校（全体の47.8%）でほぼ同程度となっており、小中学校を通じて、全国の平均正答率以上の学校数の割合が最も高くなっています。

[中学校・数学B]



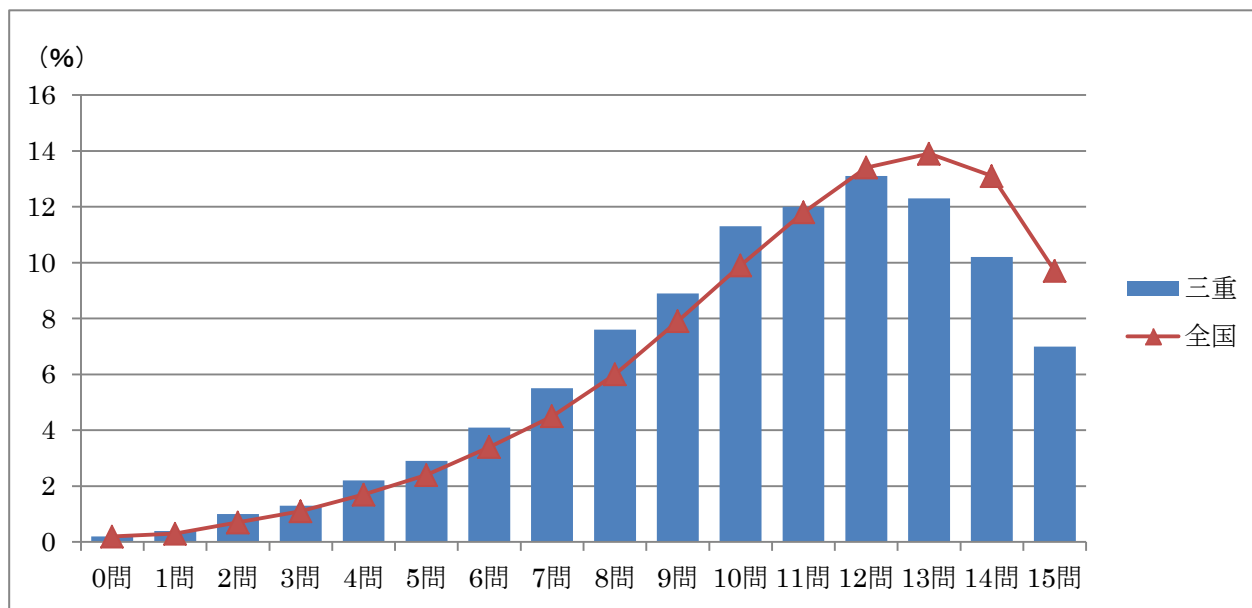
全国の平均正答率59.8%未満の学校は94校（全体の59.1%）で6割近くになっており、全国の平均正答率以上の学校は65校（全体の40.9%）に留まっています。



### (3) 正答数の分布状況

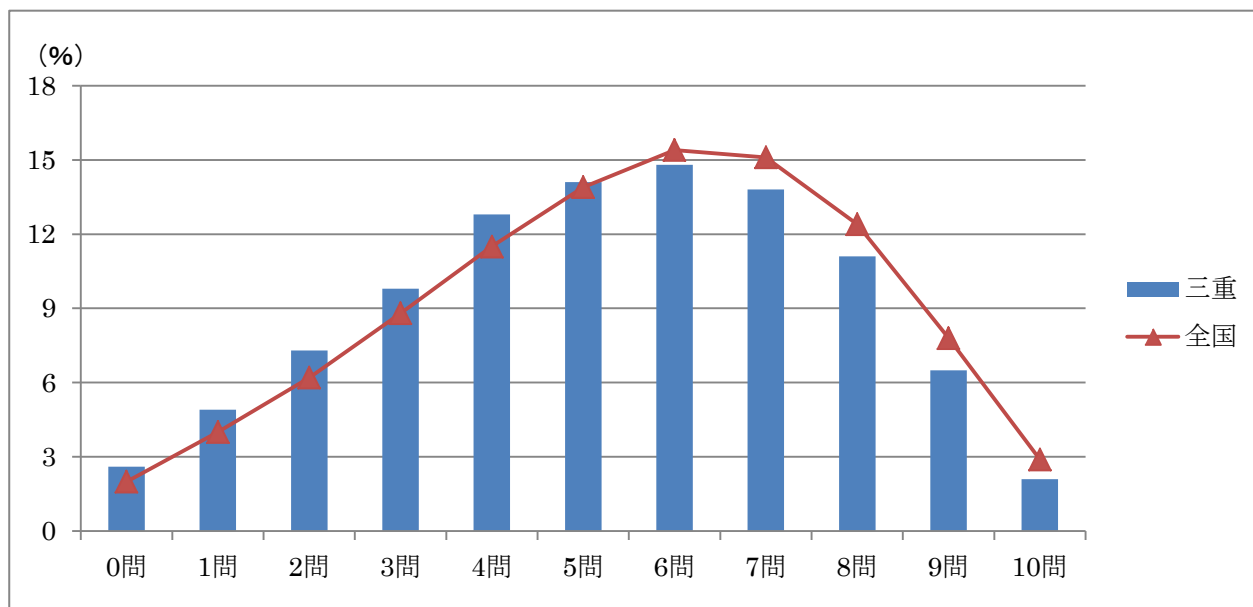
<小学校>

[小学校・国語A]



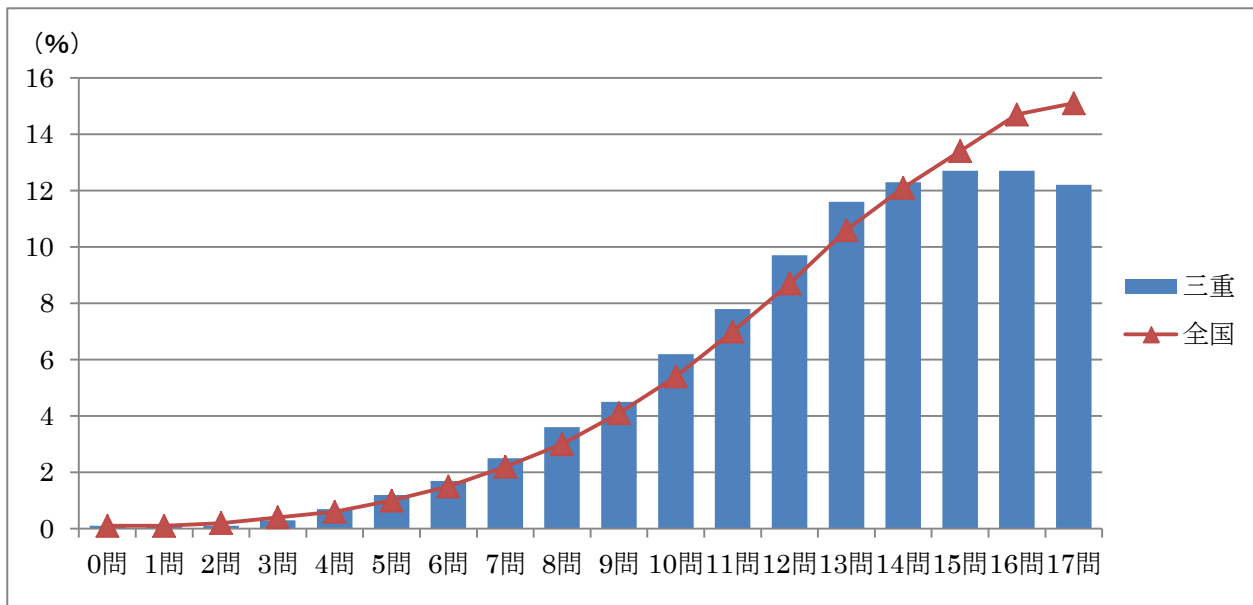
正答数が11問以下である割合が全国に比べて高く、13問以上である割合は全国に比べて低く、全体に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

[小学校・国語B]



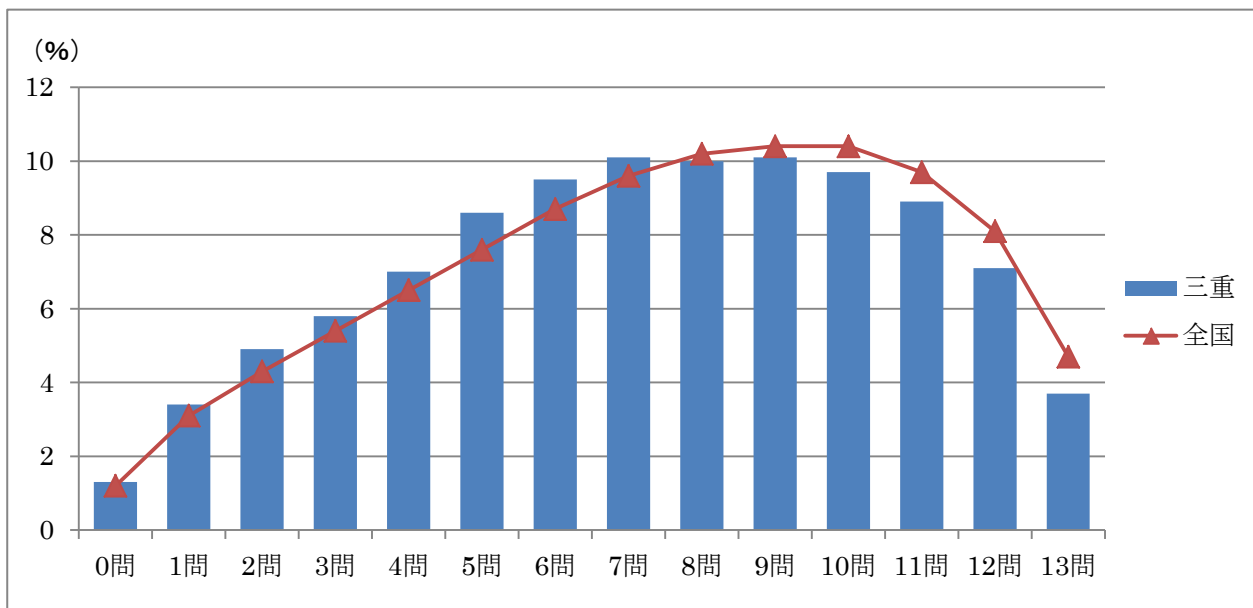
正答数が5問以下である割合が全国に比べて高く、6問以上である割合は全国に比べて低く、全体に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

[小学校・算数A]



正答数が4問から14問までの割合が全国に比べて高く、15問以上である割合は全国に比べて低く、全体に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

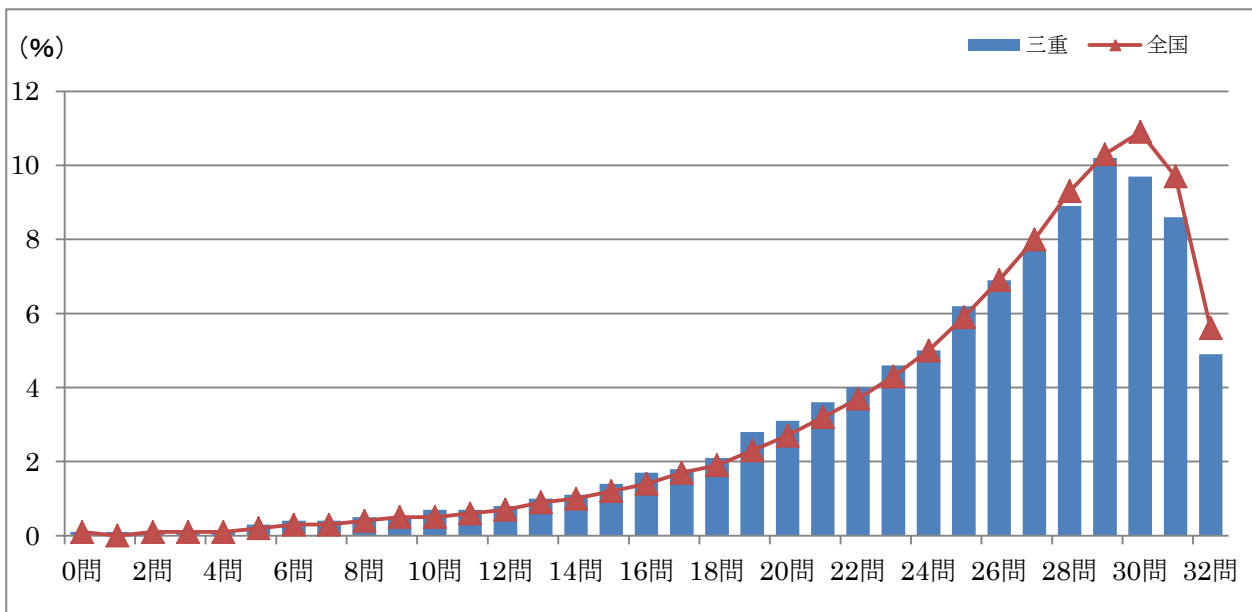
[小学校・算数B]



正答数が7問以下である割合が全国に比べて高く、8問以上である割合は全国に比べて低く、全体に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

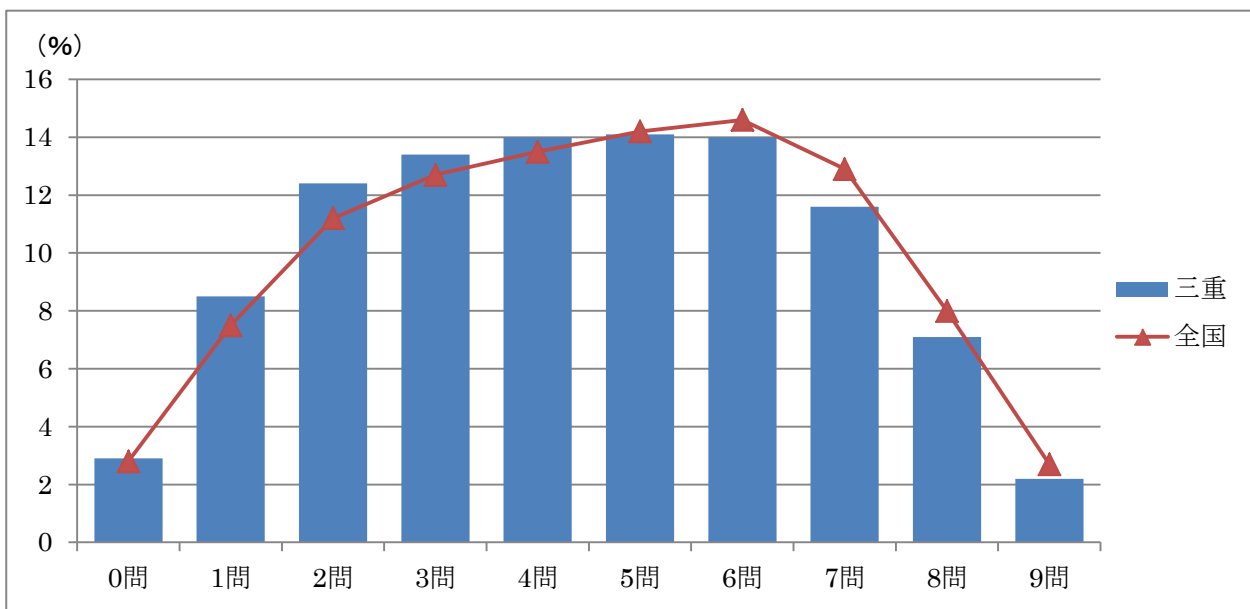
<中学校>

[中学校・国語A]



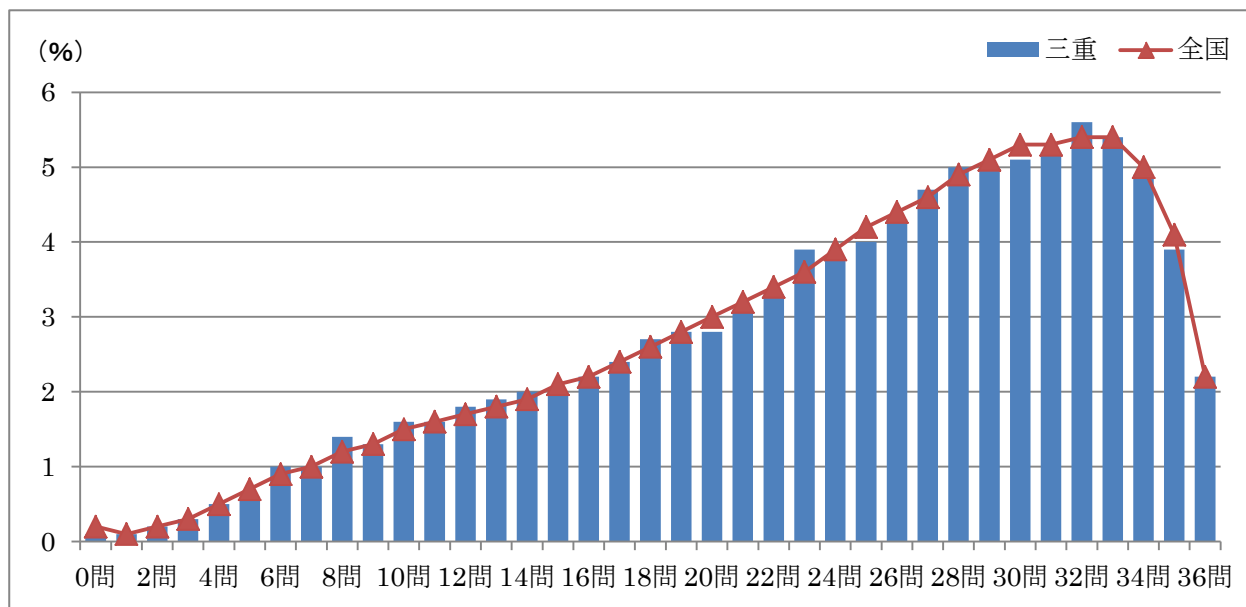
正答数が13問以下である割合は全国とほとんど変わらず割合も1%以下ですが、14問から25問までである割合は全国に比べて高く、27問以上では全国に比べて低く分布している状況にあります。

[中学校・国語B]



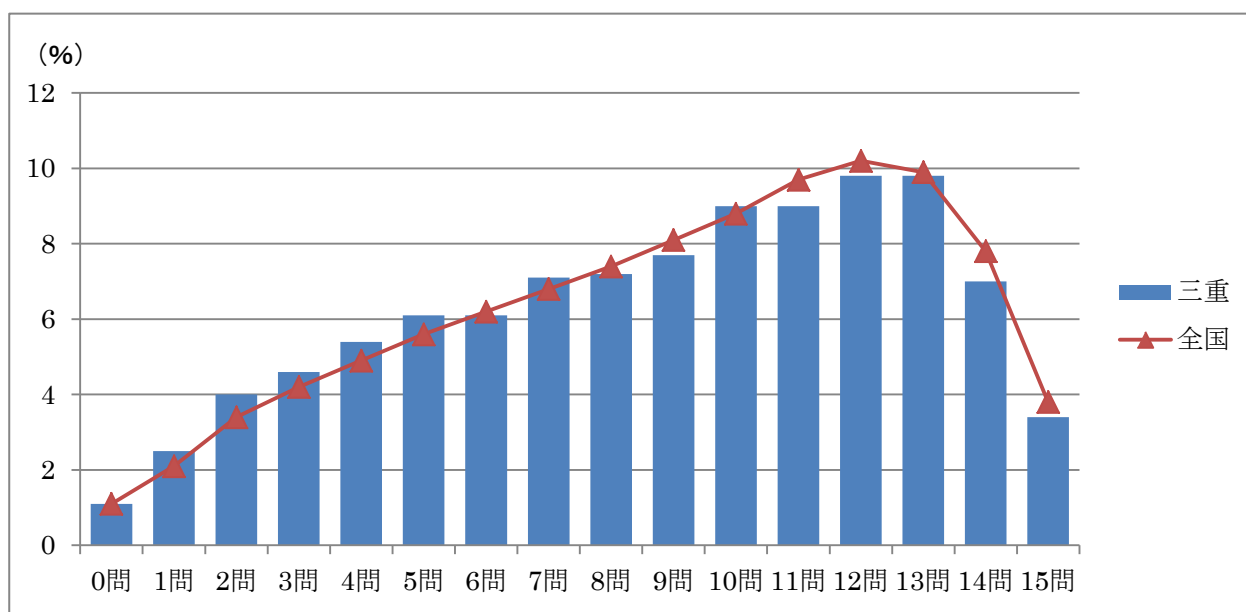
正答数が4問以下である割合が全国に比べて高く、5問以上である割合は全国に比べて低く、全体に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

[中学校・数学A]



ほとんど全国の分布状況と同じ状況にあります。若干、20問以上の正答数の割合では全国に比べて低く分布している状況にあります。

[中学校・数学B]

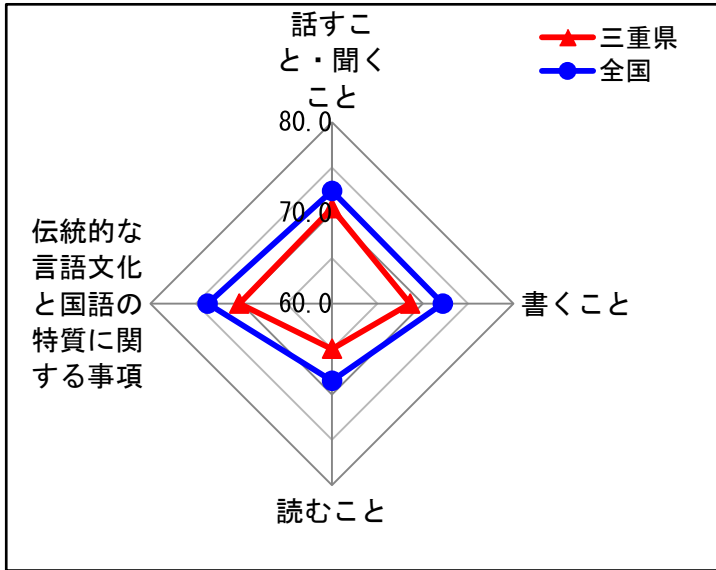


正答数が7問以下である割合が全国に比べて高い傾向にあり、8問以上である割合は全国に比べて低い傾向にあり、全体に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

(4) 領域別平均正答率の状況

<小学校>

[小学校・国語A]



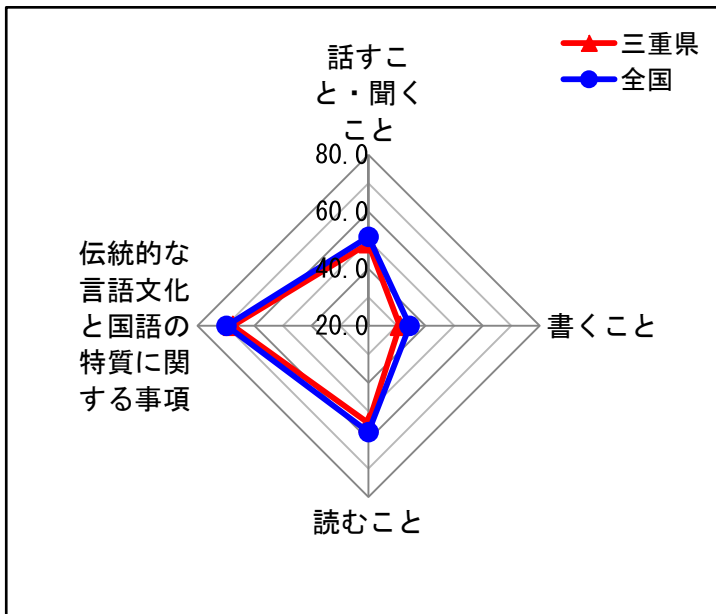
平均正答率	三重県	全国
全体	69.6	72.9
話すこと・聞くこと	70.5	72.4
書くこと	68.6	72.2
読むこと	65.0	68.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.2	73.7

すべての領域で全国の場合より低く、特に、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で低い状況にあります。

【考察】

故事成語の意味や使い方を正しく理解し、用いることに課題があるため、実生活の中で意図的に使用する機会を設けるなどして、計画的に指導することが大切です。

[小学校・国語B]



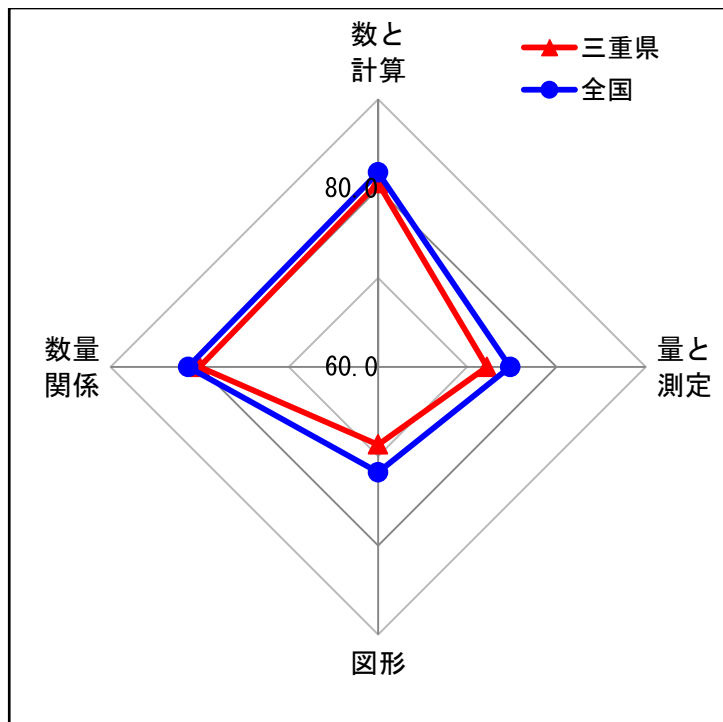
平均正答率	三重県	全国
全体	52.5	55.5
話すこと・聞くこと	48.9	51.2
書くこと	31.0	34.4
読むこと	54.1	57.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.6	69.8

すべての領域で全国の場合より低く、特に、「書くこと」「読むこと」の領域で低い状況にあります。

【考察】

目的に応じて、事実と感想、意見などの関係を整理して書いたり、読んだりすることに課題があるため、必要な情報を取り出し、情報を整理する指導の充実を図ることが大切です。

[小学校・算数A]



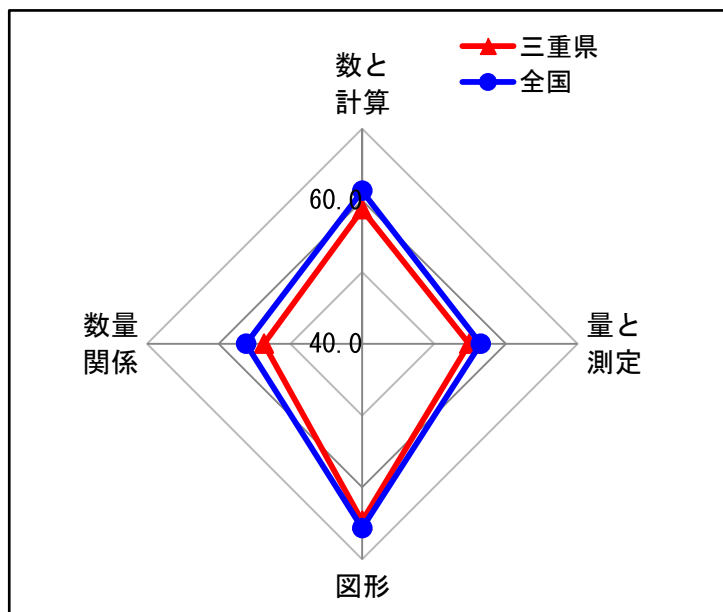
平均正答率	三重県	全国
全体	76.2	78.1
数と計算	80.6	81.8
量と測定	72.2	74.8
図形	68.7	71.8
数量関係	80.0	81.3

すべての領域で全国の状況より低く、特に、「図形」の領域で低い状況にあります。

【考察】

数量や図形の意味や性質を正しく理解することに課題があるため、様々な具体物を用いた作業的・体験的な活動を通して学習することが大切です。

[小学校・算数B]



平均正答率	三重県	全国
全体	56.0	58.2
数と計算	58.7	61.3
量と測定	54.9	56.5
図形	64.7	65.7
数量関係	53.7	56.2

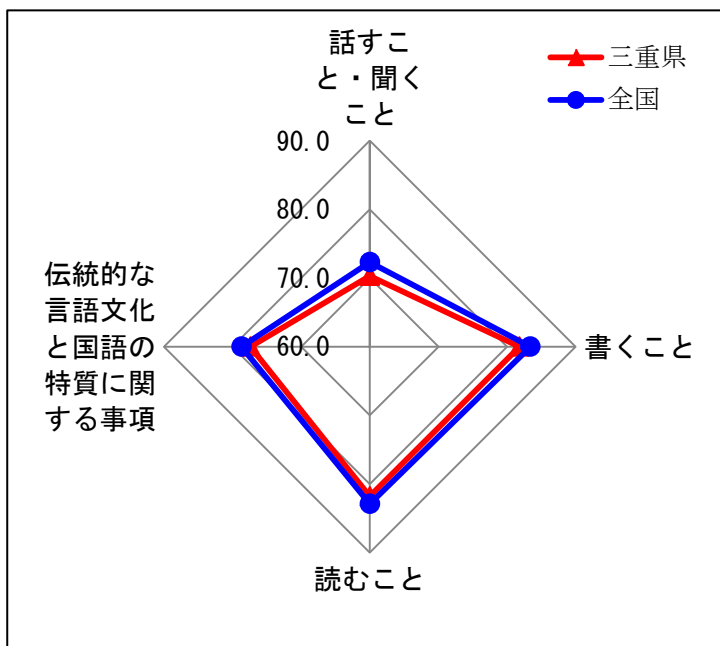
すべての領域で全国より低い状況にあるものの、ほぼ同程度となっています。

【考察】

筋道を立てて考え表現することに課題があるため、自分の考えを言葉、数、式、図、表、グラフを用いて考えたり、説明したりする活動を取り入れることが大切です。

<中学校>

[中学校・国語A]



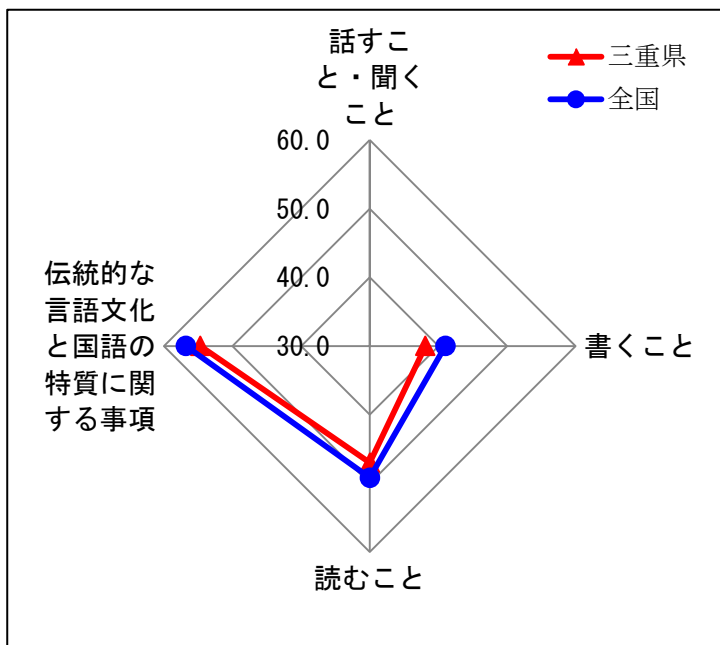
平均正答率	三重県	全国
全体	78.0	79.4
話すこと・聞くこと	70.3	72.3
書くこと	81.8	83.4
読むこと	81.8	82.9
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.4	78.7

すべての領域で全国より低い状況にあるものの、ほぼ同程度となっています。

【考察】

漢字やことわざの意味を正しく理解し、適切に用いることに課題があるため、実生活の中で意図的に使用する機会を設けるなどして、計画的に指導することが大切です。

[中学校・国語B]



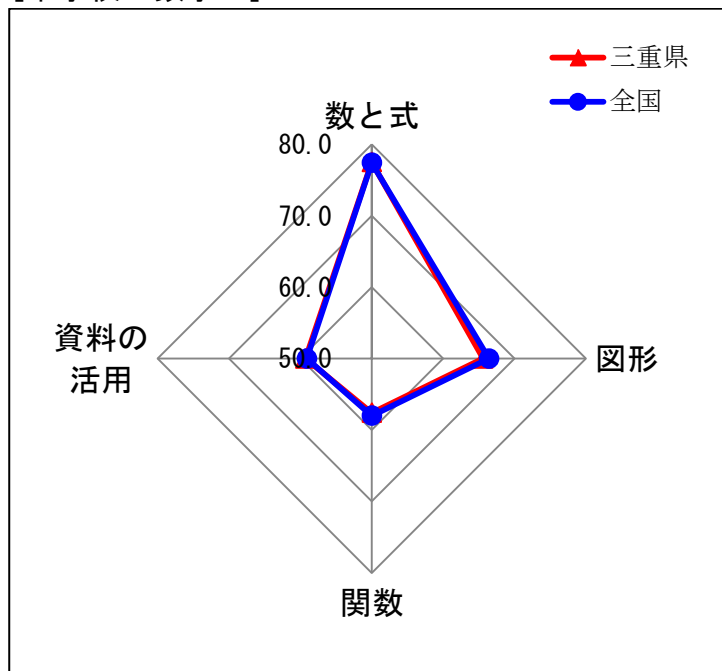
平均正答率	三重県	全国
全体	49.0	51.0
話すこと・聞くこと	—	—
書くこと	38.1	41.0
読むこと	47.0	49.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	54.7	56.8

すべての領域で全国の場合より低く、特に、「書くこと」の領域で低い状況にあります。

【考察】

根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があるため、書かれた考えの根拠の妥当性について意見を述べ合うなどの活動を取り入れることが大切です。

[中学校・数学A]



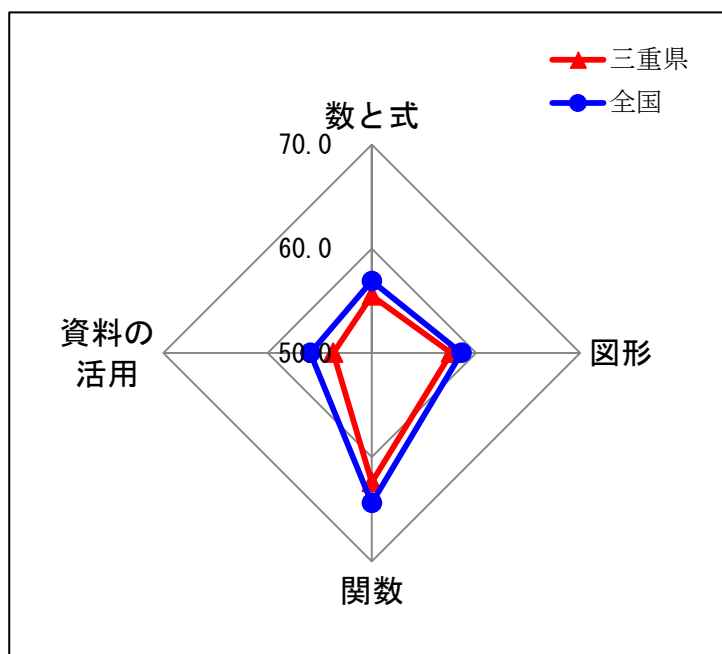
平均正答率	三重県	全国
全体	67.1	67.4
数と式	77.5	77.4
図形	65.6	66.4
関数	57.6	58.0
資料の活用	59.3	59.1

すべての領域で全国の場合と同程度となっていますが、「数と式」「資料の活用」は全国より若干高い状況にあります。

【考察】

数量や図形に関する基礎的な概念や性質の理解に課題があるため、日常生活と数学とを結び付けて考える学習活動を取り入れることが大切です。

[中学校・数学B]



平均正答率	三重県	全国
全体	58.3	59.8
数と式	55.5	56.9
図形	57.6	58.6
関数	62.4	64.4
資料の活用	53.7	55.9

すべての領域で全国より低い状況にあるものの、ほぼ同程度になっています。

【考察】

理由を説明したり、数学的に説明したりすることに課題があるため、既習の数学的表現を使って考えを説明する場面を多く設定することが大切です。



(5) 三重県における特徴的な傾向

全国と三重県の平均正答率を比較して、その差が±3ポイント以上の主な項目について、以下に示します。

＜小学校・国語A＞における傾向

① 習得した漢字を、日常的に文や文章の中で適切に使うことや、漢字を文脈に合わせて正しく書くことに課題があります。(なお、問題1二(3)は平成20年度【小学校】国語A<sup>1</sup>設問二(2)と同一の問題です。)

・問題1二(2)：漢字を正しく書く(勝利をいわう)

平均正答率 56.3% (全国 59.3%)

・問題1二(3)：漢字を正しく書く(かぜをよぼうする)

平均正答率 72.4% (全国 77.4%)

② 故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で起こる出来事や、その様子を故事成語を用いて表すことに課題があります。

・問題2一：故事成語の意味と使い方を理解する(五十歩百歩)

平均正答率 45.4% (全国 55.8%)

※全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

・問題2二：故事成語の意味と使い方を理解する(百聞は一見にしかず)

平均正答率 44.1% (全国 49.9%)

③ 物語などの文学的な文章を読むことにおいて、描写の工夫(行動や表情、会話、風景など)の効果を理解することに課題があります。

・問題3：情景描写の効果をつかえる 平均正答率 53.5% (全国 58.7%)

④ 投書の特徴を理解し、根拠となる事実や資料の使い方など、書き手の工夫をつかえながら投書等の意見文を読むことに課題があります。

・問題4：新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える

平均正答率 66.9% (全国 71.7%)

⑤ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、複数の事柄を並列の関係で書くことに課題があります。

・問題6一：複数の事柄を並列の関係で書く(「～たり、・・・たり」という表現)

平均正答率 71.2% (全国 74.9%)

### <小学校・国語B>における傾向

- ① 質問の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題があります。

・問題1二：質問の意図を捉える 平均正答率 56.4% (全国 60.2%)

- ② 目的に応じて必要な情報を取り出し、内容を分類したり関係付けたりして整理して読むことに課題があります。

・問題2一：付箋に書かれた内容を関係付けながら最初にもった疑問を捉える  
平均正答率 67.6% (全国 71.9%)

・問題2三：課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む  
平均正答率 62.3% (全国 66.0%)

- ③ 課題を解決するために、課題に対する解答や結果の予想を立て、どのような方法で必要な情報を収集するとよいかなど、解決のための見通しをもって本や文章を活用することに課題があります。

・問題3三：二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く  
平均正答率 43.1% (全国 48.1%)

※全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

### <小学校・算数A>における傾向

- ① 日常の場面から、基準量と比較量を捉え、数量の関係（基準量、比較量、割合）を図に表したり、図から読み取ったりすることに課題がある。また、整数の乘法についての理解を基に、小数の乘法の場合も同じように考え、小数倍についての理解に課題があります。

・問題2（1）：割合が1より大きい場合、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解している

平均正答率 68.5% (全国 71.9%)

・問題2（2）：割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解している

平均正答率 69.2% (全国 72.5%)

・問題4（2）：単位量当たりの大きさの求め方を理解している

平均正答率 55.8% (全国 60.8%)

- ② 作図の操作とその意味を考え、作図は図形の約束や性質に基づいていることを理解することに課題があります。

・問題5（1）：円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる  
平均正答率 78.9% (全国 83.9%)

・問題6：作図に用いられている図形の約束や性質を理解している  
平均正答率 46.1% (全国 52.0%)

※全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

### ＜小学校・算数B＞における傾向

- ① 「数量や図形、数量関係を考察して見いだした事実を確認したり説明したりすること」、「問題を解決するために見通しをもち、筋道を立てて考え、その考え方や解決方法を説明すること」、「論理的に考えを進めてそれを説明したり、判断や考えの正しさを説明したりすること」に課題があります。
- ・問題1(2)：示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる 平均正答率 51.0% (全国 55.2%)  
※全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。
  - ・問題2(2)：最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述できる 平均正答率 65.2% (全国 69.1%)
  - ・問題4(1)：繰り返されるリズムの規則性(周期)を見だし、それを基に小節数を求めることができる 平均正答率 58.7% (全国 62.2%)
  - ・問題4(2)：二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる  
平均正答率 56.6% (全国 60.5%)
  - ・問題5(2)：示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することができる 平均正答率 43.1% (全国 46.1%)
  - ・問題5(3)：示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる 平均正答率 29.9% (全国 33.0%)

### ＜中学校・国語A＞における傾向

- ① 2つの資料をもとに、何が足りない情報なのかをつかむことができないという課題があります。
- ・問題1二：必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す  
平均正答率 77.1% (全国 80.3%)
- ② 字形の似ている漢字の意味が理解できず、比較的身近な言葉の漢字を正しく書くことができないという課題があります。
- ・問題8一(2)：文脈に即して漢字を正しく書く  
平均正答率 54.5% (全国 59.5%)
- ③ 文脈に即して漢字を正しく読む力に課題があります。
- ・問題8二(1)：文脈に即して漢字を正しく読む  
平均正答率 71.7% (全国 77.0%)  
※全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。
  - ・問題8二(2)：文脈に即して漢字を正しく読む  
平均正答率 85.0% (全国 88.6%)

### ＜中学校・国語B＞における傾向

- ① 作者の意図、表現の工夫やその効果などについて考えたことを、根拠を明確にして書くことに課題があります。これについては、ここ数年の全国的な課題でもあります。

・問題 1 三：文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考え  
を書く 平均正答率 43.7% (全国 48.2%)

※全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

### ＜中学校・数学A＞における傾向

中学校・数学Aにおいては、全国の平均正答率と比較して±3ポイント以上の差がある問題はありません。

- ① 関数の意味を理解しているかを問う問題では、平均正答率は34.1%で、全国と比較すると-1.7で、特に、関数の概念を問う問題において十分な理解がなされていない状況にあり、課題があります。

- ② 図形領域については、全国の平均正答率と比較すると低い傾向にあり、特に、問題5(4)の底面が合同で高さが等しい円柱と円すいの体積の関係を問う問題では、38.7%、全国と比較しても-2.6で、授業での観察や実験などの活動を通して理解を深める取組が必要であると考えられます。

### ＜中学校・数学B＞における傾向

中学校・数学Bにおいては、全国の平均正答率と比較して±3ポイント以上の差がある問題はありません。

- ① 数学Aと比べると無解答率が高く、全国と比較してもその差が数学Aより開いている状況にあり、知識・技能を活用することに課題があります。

- ② 図形領域の証明については比較的全国との差がないものの、数と式などの説明をする問題では、全国との差が開いている状況にあり、適切な表現を用いて説明することに課題があります。

## 2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）の結果・分析

質問紙の結果から、全国の割合と比較して±3ポイント以上の差がある〈強み〉及び〈弱み〉と考えられる主な項目について以下に示します。

### (1) 小学校

#### 【児童質問紙】

##### 〈強み〉

#### ① 授業での質問について

○授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。 [質問番号(49)]

(「その場で先生に尋ねる」「授業が終わってから先生に尋ねに行く」と回答した割合)

三重県：28.4% (全国：24.5%) +3.9

#### ② 地域行事への参加について

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 [質問番号(29)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：73.2% (全国：68.0%) +5.2

##### 〈弱み〉

#### ① 家庭学習について

○家で、学校の授業の復習をしていますか。 [質問番号(24)]

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：48.7% (全国：54.0%) -5.3

#### ② 授業でのグループ活動について

○5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか。 [質問番号(41)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：72.4% (全国：77.3%) -4.9

#### ③ 授業の進め方について

○5年生までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。 [質問番号(44)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：75.7% (全国：82.0%) -6.3

○5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。 [質問番号(45)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：67.1% (全国：71.9%) -4.8

#### ④ 国語について

○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。 [質問番号(46)]

(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

三重県：69.6% (全国：63.4%) +6.2

○国語の勉強は好きですか。 [質問番号(50)]  
(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：55.8% (全国：59.2%) -3.4

○国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。 [質問番号(55)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：56.6% (全国：61.4%) -4.8

⑤ 「総合的な学習の時間」について

○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 [質問番号(40)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：53.3% (全国：63.8%) -10.5

【学校質問紙】

<強み>

① 一斉読書の時間の設定について

○調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。 [質問番号23]

(「毎日」「週に複数回」と回答した割合)

三重県：76.6% (全国：61.1%) +15.5

② 地域の人材や資源の活用について

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか。 [質問番号73]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：81.9% (全国：76.3%) +5.6

③ 授業研究を伴う校内研修の実施回数について

○授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか。 [質問番号91]

(「11回以上」と回答した割合)

三重県：44.1% (全国：38.3%) +5.8

<弱み>

① 授業について

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童に示す活動を計画的に取り入れましたか。 [質問番号28]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：91.3% (全国：96.9%) -5.6

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。 [質問番号29]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：76.3% (全国：91.6%) -15.3

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか。 [質問番号30]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：81.9% (全国：90.2%) -8.3

② 将来就きたい仕事や夢を考えさせる指導について

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。 [質問番号33]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：65.3% (全国：72.0%) -6.7

③ 全国学力・学習状況調査等の学校全体での活用について

○全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。 [質問番号51]

(「よく行っている」「どちらかといえば、行っている」と回答した割合)

三重県：75.5% (全国：88.9%) -13.4

④ 少人数指導について

○調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか。 [質問番号53]

(「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

三重県：8.4% (全国：29.0%) -20.6

○調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか。 [質問番号54]

(「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

三重県：5.2% (全国：21.4%) -16.2

⑤ 国語の指導について

○調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。 [質問番号59]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：65.9% (全国：70.9%) -5.0

○調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。 [質問番号60]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：31.3% (全国：40.7%) -9.4

○調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。 [質問番号63]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：76.6% (全国：83.2%) -6.6

⑥ 算数の指導について

○調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補足的な学習の指導を行いましたか。 [質問番号66]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：82.4% (全国：89.5%) -7.1

○調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。 [質問番号68]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：55.1% (全国：66.2%) -11.1

⑦ 「総合的な学習の時間」の指導について

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。

[質問番号42]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：64.1% (全国：79.7%) -15.6

⑧ 地域の人材や資源の活用について

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか。 [質問番号75]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：24.2% (全国：37.4%) -13.2

⑨ 家庭での学習方法等について

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。(国語／算数共通) [質問番号85]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：81.4% (全国：85.4%) -4.0

⑩ 言語活動の充実の取組について

○言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか。 [質問番号95]

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：82.6% (全国：88.2%) -5.6

○言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。

[質問番号97]

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：83.5% (全国：90.3%) -6.8

⑪ 校長による授業の見回りにについて

○校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。 [質問番号101]

(「ほぼ毎日」「週に2～3日」と回答した割合)

三重県：84.5% (全国：91.6%) -7.1



(2) 中学校

【生徒質問紙】

<強み>

① 授業での考えの発表や話し合い活動について

○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。 [質問番号(7)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：53.5% (全国：48.6%) +4.9

○1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。 [質問番号(43)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：80.1% (全国：75.3%) +4.8

② 地域行事への参加について

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 [質問番号(29)]

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合)

三重県：50.4% (全国：43.5%) +6.9

<弱み>

① 基本的な生活習慣について

○普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲーム除く) [質問番号(11)]

(「3時間以上」と回答した割合)

三重県：35.2% (全国：31.5%) +3.7

○普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。 [質問番号(12)]

(「3時間以上」と回答した割合)

三重県：24.0% (全国：20.3%) +3.7

○普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)。 [質問番号(13)]

(「3時間以上」と回答した割合)

三重県：24.5% (全国：19.8%) +4.7

② 家庭学習について

○学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

[質問番号(14)]

(「2時間以上」と回答した割合)

三重県：31.3% (全国：35.1%) -3.8

○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師含む) [質問番号(15)]

(「3時間以上」と回答した割合)

三重県：12.6% (全国：16.9%) -4.3

○家で、学校の授業の復習をしていますか。 [質問番号(24)]

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：45.5% (全国：50.4%) -4.9

### ③ 家族について

○家の人(兄弟姉妹除く)は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか。

[質問番号(20)]

(「よく来る」「時々来る」と回答した割合)

三重県：78.8% (全国：83.1%) -4.3

### ④ 授業の進め方について

○1、2年生のときに受けた授業のはじめに、授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。 [質問番号(44)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：62.1% (全国：71.5%) -9.4

### ⑤ 「総合的な学習の時間」について

○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 [質問番号(40)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：46.2% (全国：54.8%) -8.6

## 【学校質問紙】

### <強み>

#### ① 一斉読書の時間の設定について

○第3学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。 [質問番号23]

(「基本的に毎日行った」「週に複数回、定期的に行った」と回答した割合)

三重県：85.9% (全国：79.8%) +6.1

#### ② 長期休業日を利用した補充的な学習サポートの実施について

○第3学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。(実施した日数の累計) [質問番号27]

(「延べ5日以上」と回答した割合)

三重県：69.1% (全国：60.4%) +8.7

#### ③ 組織的な研修や取組について

○授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか。 [質問番号89]

(「11回以上」と回答した割合)

三重県：27.2% (全国：21.5%) +5.7

<弱み>

① 授業について

○調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。 [質問番号20]

(「そのとおりだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

三重県：54.3% (全国：63.8%) -9.5

○第3学年の生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか。 [質問番号28]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：88.3% (全国：94.0%) -5.7

○第3学年の生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。 [質問番号29]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：84.5% (全国：89.2%) -4.7

○調査対象学年の生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか。 [質問番号43]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：56.1% (全国：63.4%) -7.3

② 生徒が調べたことなどを文章に書かせる指導について

○第3学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか。 [質問番号41]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：80.8% (全国：86.5%) -5.7

③ 少人数指導について

○第3学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数指導を行い、習得できるようにしましたか。 [質問番号53]

(「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

三重県：13.6% (全国：22.7%) -9.1

○第3学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか。 [質問番号54]

(「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

三重県：11.2% (全国：18.2%) -7.0

④ 国語の指導について

○調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。 [質問番号59]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：66.1% (全国：74.9%) -8.8

○調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。 [質問番号60]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：51.2% (全国：56.0%) -4.8

○調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。 [質問番号61]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：77.2% (全国：81.5%) -4.3

⑤ 「総合的な学習の時間」の指導について

○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。

[質問番号42]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：73.5% (全国：79.6%) -6.1

⑥ 家庭での学習方法等について

○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/数学共通)。 [質問番号82]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：81.5% (全国：85.4%) -3.9

○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/数学共通)。 [質問番号83]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：71.6% (全国：76.9%) -5.3

○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/数学共通)。 [質問番号84]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：55.6% (全国：64.2%) -8.6

⑦ 組織的な研修や取組について

○平成25年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。

[質問番号50]

(「よく行った」「行った」と回答した割合)

三重県：71.0% (全国：77.2%) -6.2

○教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携(教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など)を行っていますか。 [質問番号70]

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：64.8% (全国：72.1%) -7.3

○授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか。 [質問番号89]

(「11回以上」と回答した割合)

三重県：27.2% (全国：21.5%) +5.7

## ⑧ 言語活動の充実の取組について

○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか。 [質問番号30]

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：77.2% (全国：84.9%) -7.7

○言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか。 [質問番号93]

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：73.4% (全国：80.5%) -7.1

○言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。 [質問番号95]

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：77.1% (全国：85.4%) -8.3

## ⑨ 校長による授業の見回りについて

○校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。 [質問番号99]

(「ほぼ毎日」「週に2～3日程度」と回答した割合)

三重県：69.2% (全国：79.3%) -10.1

## 《今後の詳細な調査結果の公表の予定》

詳細な分析等については、以下の項目を追記して、10月末に公表を予定しています。

### 2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）に関する調査の結果・分析

※詳細な深掘りの分析も、追って記載する。

### 3 地域特性や施策取組結果等の状況

※三重県の特徴的な実態や、県教育委員会による支援の状況を踏まえた分析を記載する。

### 4 県教育委員会による児童生徒の学びの充実を図るための今後の取組

※今までの取組による成果や改善に向けた現在の状況、今後の見通し等も併せて記載する。

### 5 各市町等別の質問紙調査（児童生徒用・学校用）の回答状況

(1) 「みえの学力向上県民運動」における成果指標及び取組指標に関連する項目の回答状況

※平成26年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査（児童生徒用・学校用）の中から、「みえの学力向上県民運動」における成果指標及び取組指標に関連する項目を記載する。

(2) その他の特徴的な項目の回答状況

※上記(1)の項目以外の特徴的なものを取り上げる。

### 6 各市町等別調査の結果・分析と今後の取組

※県のホームページへの掲載に同意を得られた市町の情報をリンク等する。